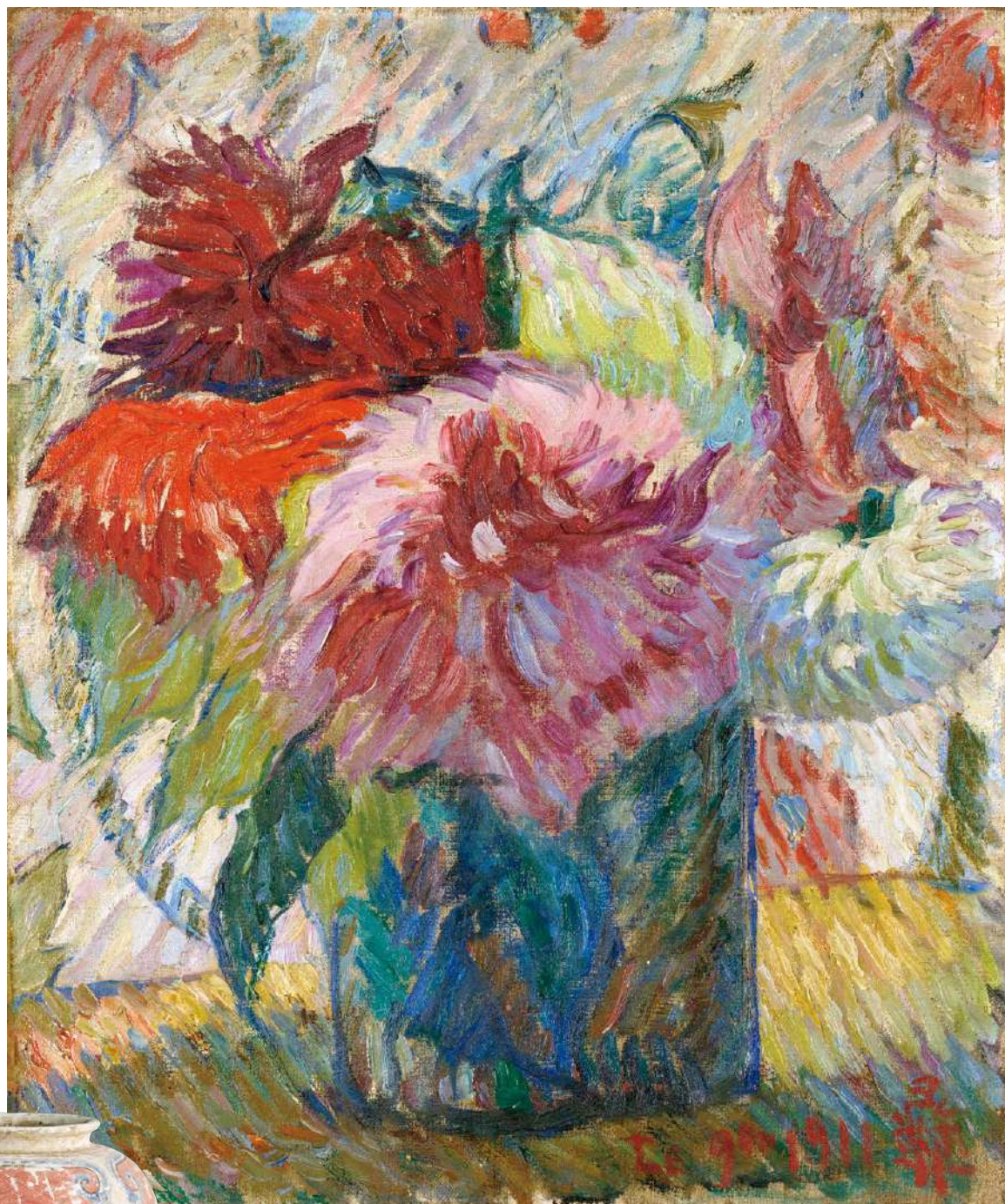


# クヴェレ美術館 開館記念展 II Meet 美の交差点

QUELLE Museum of Art opening exhibition II  
Meet: The Crossroads of Beauty  
The essence of modern Japanese Western-style  
painting and the Silk Road

## 日本近代洋画とシルクロードの精華

水戸の至宝、中村彝の《ダリア》85年ぶりに公開！



2026 7/18 (Sat.)~2027 1/11 (Mon.)

※前期(～10/4)と後期(10/10～)で一部展示替えします。  
開館時間＝10:30～17:30(入館は17:00まで) 休館日＝月曜日・毎月第2火曜日(祝日の場合は翌平日)、10/5～10/9、12/29～1/4  
入館料＝一般700円、高校生以下は無料。※障がい者手帳等をご持参の方および付き添いの方1名は無料。  
会場＝テツ・アートプラザ クヴェレ美術館 〒310-0026 茨城県水戸市泉町3-2-3  
主催＝哲文化創造公益財団法人 後援＝水戸市・水戸市教育委員会  
上:中村彝《ダリア》1911年 下:《白釉加彩纏文壺》唐時代(7-8世紀)

QUELLE  
MUSEUM of ART  
クヴェレ美術館

# クヴェレ美術館 開館記念展 II Meet 美の交差点

QUELLE Museum of Art opening exhibition II  
Meet: The Crossroads of Beauty  
The essence of modern Japanese Western-style  
painting and the Silk Road

## 日本近代洋画とシルクロードの精華



異国への挑戦 悠久の祈り



© Fondation Fougita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 E6358

2026 7/18 (Sat.)~2027 1/11 (Mon.)

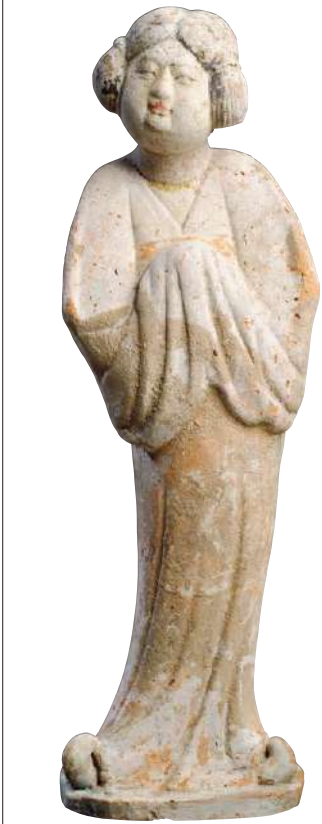
※前期(～10/4)と後期(10/10～)で一部展示替えします。  
開館時間＝10:30～17:30(入館は17:00まで) 休館日＝月曜日・毎月第2火曜日(祝日の場合は翌平日)、10/5～10/9、12/29～1/4  
入館料＝一般700円、高校生以下は無料。※障がい者手帳等をご持参の方および付き添いの方1名は無料。  
会場＝テツ・アートプラザ クヴェレ美術館 〒310-0026 茨城県水戸市泉町3-2-3  
主催＝哲文化創造公益財団法人 後援＝水戸市・水戸市教育委員会  
右:藤田嗣治《宝物》1954年 左:《仏頭》3世紀

QUELLE  
MUSEUM of ART  
クヴェレ美術館





熊谷守一《牝猫》1959年



《加彩女子》唐時代(8世紀)〔前期〕



藤田嗣治《少女》1929年

© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 E6358

# 日本近代洋画とシルクロードの精華

クヴェレ美術館開館記念展Ⅱでは、日本の近代洋画とシルクロードにまつわる工芸作品より、選りすぐりの名品をご紹介します。

日本近代洋画では、「異国への挑戦」がテーマです。

西洋がまだ遠い異郷であった時代、浅井忠、岡田三郎助、藤島武二らは海を渡り、光や色彩の新しいあり方に出会い、自らの表現を切り拓いていきました。藤田嗣治や佐伯祐三、国吉康雄らもまた、海外の芸術の中で自分の美意識を磨き、それぞれの個性を育てていきます。

一方、日本にとどまった岸田劉生や萬鉄五郎らは、西洋からの影響を自分の内面で深め、独自の表現へと昇華していきました。なかでも、水戸市出身の中村彝による《ダリア》(1911)は、セザンヌやゴッホへの憧れが、いきいきとした生命感としてあらわれた作品です。本作は昭和16年(1941)の油絵遺作展覧会以来85年ぶりの公開となります。

それぞれの画家たちが歩んだ「異郷への旅路」を、どうぞゆっくりとお楽しみください。

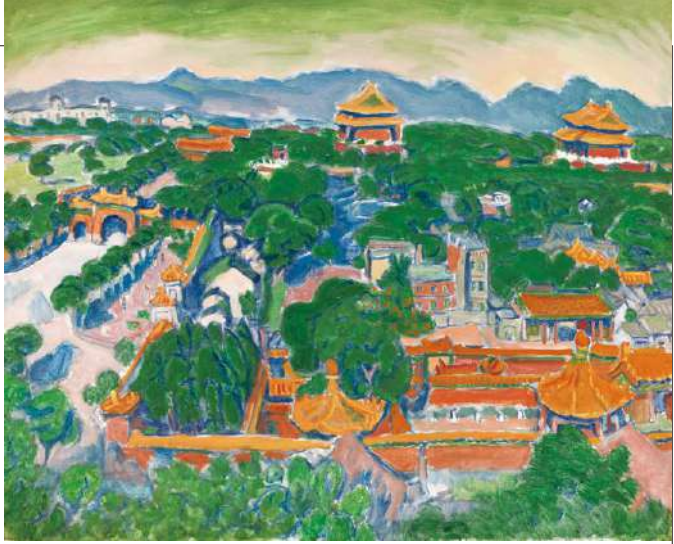
異国へのあこがれは、古今東西を問わず変わりません。ユーラシア大陸を横断する交易路であったシルクロードは、さまざまな新しいものを各地にもたらし、文化に刺激を与えました。さらに、シルクロードの起点となった長安を中心に、唐時代の中国では各地の文化が融合した華やかな文化が生まれました。工芸作品からは、西アジアで生み出されたパルメット模様や唐草模様をあしらった作品、色鮮やかな唐三彩、豊かな唐のくらしぶりを今に伝える俑、そしてガンダーラからはじまり日本に伝わった仏教美術の珠玉の作品をご紹介します。



《三彩宝相華文洗》唐時代(7-8世紀)



《三彩童子》唐時代(8世紀)



梅原龍三郎《北京風景 長安街》1940年



浅井忠《早春》1887年頃



坂本繁二郎《仔馬》1937年



《彩陶連珠文水差》8世紀

## 開館記念展関連イベント

### 【講演会】

7月18日(土) 14:00～15:00

「クヴェレ美術館：東洋陶磁コレクションの魅力」

講師：荒川正明(学習院大学教授、哲文化創造公益財団法人 顧問)

9月12日(土) 14:00～15:00

「クヴェレ美術館：近代洋画コレクションの魅力」

講師：志賀 秀孝(当館館長)

会場：テツ・アートプラザ クヴェレホール

※予約不要、参加費無料

### 【建築ツアー】

7月25日(土) 14:00～15:00

「テツ・アートプラザの設計に込めた思い」

設計者：服部敦史氏(大字根建築設計事務所)

会場：テツ・アートプラザ内(設計者によるガイドツアー)

※予約不要、参加費無料(要入館料)

※各イベントは、変更または中止する場合があります。ご来館前に当館ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。

### 次回展予告

クヴェレ美術館開館記念展Ⅲ

Meet 美の交差点

棟方志功と清宮質文の版画世界

／伊万里染付大皿大公開(仮)

会期＝2027年1月23日(土)～4月11日(日)予定

## 「まちに生きる」「歴史を感じる」「生活を楽しむ」新しい交流の場

明治42年(1909)に建設された、歴史的に貴重な洋風建築である旧川崎銀行が、水戸の新たな交流の場「クヴェレホール」として生まれ変わりました。「テツ・アートプラザ」(TAP)は、「クヴェレホール」を中心として、木のぬくもりあふれる「クヴェレ美術館」と、明るく、開放的なカフェ「nico and ... COFFEE」から成る文化施設です。心地の良い空間で、気軽に芸術文化に触れ、豊かな時間をお過ごしください。



© MOON LIGHT 小沼渉写真事務所

### クヴェレ(Quelle)とは

ドイツ語で「泉」を意味します。テツ・アートプラザが建つ「泉町」にちなみ名付けました。湧き出す泉に人々が集い、交流が生まれる場となるようにとの願いを込めています。

## テツ・アートプラザ クヴェレ美術館



〒310-0026 茨城県水戸市泉町3-2-3

### アクセス

#### 【公共交通機関】

JR東京駅(品川駅始発)から常磐線特急で約75分、水戸駅下車、北口バスターミナル4-7番のりばからバスで約5分「泉町三丁目」下車、横断歩道を渡ってすぐ。

#### 【乗用車】

常磐自動車道水戸ICから約20分又は水戸北ICから約15分。  
※提携駐車場の詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。

最新情報はこちら▷  
tap-mito.jp

